
在り来たりな冒険譚

イルカ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

在り来たりな冒険譚

【Nコード】

N7235X

【作者名】

イルカ

【あらすじ】

ファンタジー世界。

“魔王を倒した勇者”を祖母に持つ少年、ガンマ〓オウサード〓デ
〓スピサー〓口。

ほったらかしで育った為、自由に生きるのがモットーとばかりに仲間（出るかな？）とハチャメチャ楽しむ旅をする。

そんな冒険譚になればいいなと作者は思う。「俺に任せろ！」「って聞こえた気がしたから、もう投げっぱなし任せっぱなしの冒険譚！ご都合主義を振りまく神がいる世界。そんな物語です。」

序章、始まりとこの世界（前書き）

皆さんの小説を読み、書いてみたくて書きました。
処女作であり、ご都合主義満載です。

序章、始まりとこの世界

ここはファンタジー世界。

そのまんまだが、その名の通りのファンタジーな世界。

なんでも有りの都合の良い世界だ。

そして神は確かに存在する。

たまに下界に降りて来て、悪さもすれば善いこともする。

神は気紛れコレ常識。

過剰に崇め祀れば神殿に落雷があったり。貧しい少女が一切れのパンを供えれば、たちまちの内に屋敷を建ててくれたり。

それで調子に乗った少女がやっぱり落雷で屋敷が燃えたり。

触らぬ神に害は無し、となるべく触れないで居るのが安心生活設計。

そんな世界で生きる俺の名前はガンマ〃オウサード〃デ〃スピサー
口。

先日15歳になったところだ。

一応貴族だが由緒ある家柄ってわけでもない。ほぼ末端だ。

90年程前に作られた家だ。

名前の“デ”が貴族を表している。

因みに“ド”が王家。

“ジ”が王族から分かれた家。三代（王の兄弟の孫の代）のみ使用。

“レ”が後の親と兄弟姉妹とその子供のみ使用。

“ペー”が社会的貢献をした民間人に付けられる称号。

我が家の様な“デ”は、武に於いて多大な貢献をした民間人に付けられる称号。所謂騎士だ。

それが王族の結婚や離婚、降嫁や廃嫡などで後ろに文字が増えてい

くという具合だ。

三文字以上になった時、最後に“ン”を付ける。取り敢えず今はこれで終わりという印だ。当然、めったに居ない。

そしてこの“ペー”と“デ”だが、当代称号または末代称号と言われ、基本は受けた本人のみの称号。

ただし、その子供に関しては、未成年の内は使用し、15歳の時に選定委員会による難解な試験やら面接を受け、通れば世襲が認められる。

更に、王族や后族の“貴族称号最後の者達”の子供も試験を受けられる。

受かったら“ペー”や“デ”が付けられ、落ちたら民間人。名前の“ペー”や“デ”や“ジ”や“レ”が剥奪される。

以上。あまり覚える必要は無い。というか、全く覚えなくて構わない。

俺の親父もそれにパスした。

俺も今年、その試験を受けなければならない。

正直面倒くさい。

けど、お袋がうるさい。

何かと言えば「我が家は由緒ある勇者の血を引いてるんだからね！」と。

勇者の血を引いてる。

まー、婆ちゃんが勇者だ。

90年程前の神魔大戦の時、単身で魔王の居城に乗り込み魔王様を倒したそうだ。

婆ちゃん当時18歳で独身。

孫の俺が言うのも何だがすげー美人だ。でも、おっかな過ぎて男が

寄って来なかつたらしい。

それに軟弱な男もキライだって言うんで、たまに寄って来た男を足蹴にしたって。文字通りの意味ね。

そんな婆ちゃんにも男が出来た。爺ちゃんだ。

何でも、魔王の城でウロウロと宝を漁ってたらしい。

その逞しさにすかさず求婚。即了承。

婆ちゃんが49歳の時、親父誕生。高齢出産なんのその。遅かった理由は、爺ちゃんと二人でまだまだ冒険したかったと。中々熱い夫婦だね。

親父も親父で、気が付いたら居なくなってるってくらいの冒険好き。そんな親父が46歳の時に「嫁さん貰ったぞー」とお袋を連れて帰って来たそうさ。

腹には俺が入ってた。

因みにお袋は、今現在まだ29歳だ。

つか、親父：あんだこそ勇者だよ。

スピサーロと言うのは、婆ちゃんから始まる家名。

魔王討伐の褒賞として貴族になりその時に付けたってわけだ。

ガンマってのは普通呼んではいけない名前。

孫、子、血を分けた兄弟、親、その親、更にその親というように、血の繋がりが無い者は呼んではいけない。間違っって呼ぼうものなら、呼んだ者も呼ばれた者も存在すら消えかねない。

原理は解らない。なんであるのかも解らない。

ただ、付けなければ親子共々、存在が消えるという。

ある年齢になつたら、そういつた理が頭に入ってくる。

不思議だが、俺も7歳くらいの時に自然と解った。

神様の都合で何かあるんだろ。ってのが研究者の意見だ。

もちろん、自己紹介の時には言わない。

だからオウサードと呼ぶのが一般的で正しい。

そんな俺がこの世界をどう生きるのか、まだ、誰も知らない。

序章、始まりとこの世界（後書き）

微世界設定と主人公設定です。

説明文が多くなりましたが、今後もそんなのが多くなりそうな気がします。

今後とも宜しくお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7235x/>

在り来たりな冒険譚

2011年10月19日03時08分発行